

議 事 録

公開・一部公開・非公開			部 分 非公開 理 由		
部長	上下水道専門監	課長		保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
			**		
水道係長	下水道係長	業務係長	業務係員		記録者所属 上下水道課 業務係 職・氏名 係長・中邨

会議等の名称	東御市上下水道事業運営審議会	開催日時	令和7年10月8日（水） 午後2時00分～午後3時30分
		場 所	勤労者会館2階大会議室
主催者（事務局）	都市整備部 上下水道課 業務係	司会者	上下水道課長 中山
出席者	委員 8名 関、新田、藤井、山本、寺島、坂口、井出、田口		
	市長 花岡		
	事務局6名 山邊、中山、小出、金井、中邨、井出		
欠席者	委員 2名 山邊、成山		

会議事項	委嘱書の交付	(配布資料) 別添のとおり
	会長の選出について	
	(説明事項)	
	(1) 水道事業について	
	(2) 下水道事業について	
	(3) 上下水道事業決算について	
	(4) 経営戦略の事後検証について	
	下水道事業の現状について	
決定事項	会長：山邊	
次回への検討事項	なし	
次回開催	令和8年1月頃	

様式第 4 号（第 21 条関係）

討議	（発言者名）	（発言内容）
内容及び経過		
1 開会	上下水道課長	出席者報告（8 名出席、2 名欠席）
2 委嘱書交付		（委嘱書を交付）
3 あいさつ	市長	（市長あいさつ）
		（市長退席）
4 自己紹介		（委員及び職員の自己紹介）
5 上下水道事業 運営審議会に ついて	事務局	（東御市上下水道事業運営審議会条例に基づき任務等について説明）
6 会長の選出に について	上下水道課長	（委員から事務局案の声により事務局から山邊委員を推薦）
		（拍手多数により可決）
7 会長職務代 理の指名につ いて	上下水道課長	（山邊委員が欠席のため、職務代理者は後日、指名いただく）
8 説明事項 （事務局説明）	事務局	（各資料を基に説明）
		（1）水道事業について（資料 1）
		（2）下水道事業について（資料 2）
		（3）上下水道事業決算について（資料 3－1、3－2）
		（4）経営戦略の事後検証について
		（資料 4－1、4－2、下水道事業の現状について）
（質疑・応答）	委員	資料 2 の統廃合事業について、北御牧地区の白樺池地区や常満地区
		は、それほど規模が大きくない地区だと思います。
		最近、国土交通省もいっているが、統廃合より個別の合併浄化槽にし

討議	(発言者名)	(発言内容)
		の方が良いと思うがどう考えているか。
	事務局	現在、白樺池地区は59世帯、常満地区は56世帯あり、規模的にも統廃合を進めた方が経済的に有利と考えています。白樺池地区は農業集落排水の下八重原処理場へ、常満地区は特定環境保全公共下水道の川久保浄化センターへ統廃合を進める予定です。この他に、玉の井地区については世帯数が少ないため、現状を維持しつつ、将来的には個人浄化槽への転換を考えています。
	委員	将来世代に負担を残さないためにも下水道使用料の改定は仕方ないと思うが、下水道使用料の改定を考えるにあたって、現状の施設の耐震化、長寿命化などはどの程度進んでいるか。
	事務局	東部浄化センターについては、平成21年に管理棟の耐震診断を行い、平成28年度に管理棟の耐震工事を実施しました。また、同年に管理棟以外の耐震診断を実施しており、耐震診断で耐震補強が必要と判断された箇所については、ストックマネジメント事業（国の補助金）を活用して、耐震補強工事を実施して行く予定です。
	委員	資料2の下水道管路長寿命化、耐震化事業にある管口カメラ調査について、令和7年度の状況はどうか。
	事務局	東部第一幹線の西海野から片羽まで実施し、管路全体的で腐食の異常はありませんでした。
		ただ、砕石の堆積と木の根の繁茂により管路が狭くなっている箇所がそれぞれ1箇所ずつありました。砕石については直ちに除去を行い、崩落等の異常がないことを確認しています。また、木の根については、直ちに除去を試みましたが完全には除去できなかったため、改めて除去作業を実施する予定です。

討議	(発言者名)	(発言内容)
	委員	資料 2 にある小型合併処理浄化槽についてだが、下水道区域外だから
	(意見)	というだけではなく、都市計画税を徴収しているのだから不公平がない
		ように下水道事業を進めていただきたい。
	委員	東御市の下水道はどういう状態なのか、施設を設置してどのくらいに
		なるのか。
		八潮市の事故を受けて、全国的に国が調査を実施していると思うが東御市にも調査依頼はきているか。
	事務局	古くは昭和 61 年度に供用開始した地区があり、完成後 40 年程度経過
		しています。下水道管の標準耐用年数は 50 年とされており、徐々に近
		づいている状況です。また、八潮市の事故発生後、市として主に直径
		700mm の管路で、東部浄化センターから白鳥神社附近にかけ、緊急的に
		管口カメラ調査を行いました。結果、腐食等の異常は確認されません
		でした。国からは管径 2,000mm 以上の管路を対象として緊急点検調査
		の照会がありましたが、本市ではこれに該当する管路はありません。
	委員	水道スマートメーターが全国的に導入され始めているが、水道スマー
		トメーターについて東御市はどう考えているか。
	事務局	現在、東御市においては、湯の丸と、東入、西入の検針困難箇所には水
		道スマートメーターを実証実験として取り付けています。
		積雪時等の安全な検針実施、凍結破損による漏水の早期発見などを目的
		として取り付けています。
		市全域への導入については、現在のところ、検針費用に対して機器が
		高額なため考えていません。
	委員	経営戦略の事後検証にある施設利用率の数値がかなり上昇している
		が、これから統廃合事業を進めてつなぎ込みが増えると稼働率が 100%
		に近くなると思うが施設の処理能力は大丈夫か。

様式第 4 号（第 21 条関係）

討議	（発言者名）	（発言内容）
	事務局	東部地区については、東部浄化センターに稼働していない処理設備があり、現在、この処理設備を使用するための耐震化工事を進めています。工事完了後には、その処理設備も使用できるようになるため処理能力は問題ありません。
9 その他		北御牧地区の統廃合については、処理能力を確認して統廃合事業を計画しています。
	事務局	（会議報酬等について説明）
10 閉会	上下水道課長	（閉会）